

(変更1回、最終) 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 1 0 月 2 1 日
契 約 業 者 名	井森工業株式会社
契 約 業 者 の 住 所	山口県柳井市伊保庄 4 9 0 7 番地
工 事 の 名 称	徳山下松港徳山地区航路・泊地 (- 1 4 m) 等浚渫工事
工 事 場 所	山口県周南市晴海町地先及び開成町地先
工 事 種 別	港湾等しゅんせつ工事
工 事 概 要 (変更した内容)	別添工事数量総括表のとおり
工 期 (自)	令和 7 年 5 月 2 9 日
工 期 (至)	令和 7 年 1 0 月 2 4 日
変更前の契約金額	1 8 2 , 3 8 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	4 5 , 1 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変更後の契約金額	2 2 7 , 4 8 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	別紙変更理由書のとおり

工事数量総括表

工 事 名	徳山下松港徳山地区航路・泊地（ - 1 4 m ）等浚渫工事（変更 1 回）					事業区分	港湾整備
						工事区分	航路・泊地、航路
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増 減	摘 要	
航路・泊地（ - 1 4 m ） 浚渫工 グラブ浚渫工 グラブ浚渫（ 1 ） グラブ浚渫（ 2 ）		m3 m3	17,755 0	17,773 1,983	18 1,983	(参考数量) 純土量 + 余掘 粘土質土砂 N<10 17,773 m3 (参考数量) 純土量 + 余掘 粘土質土砂 N<10 1,983 m3	
航路（ - 1 4 m ） 浚渫工 グラブ浚渫工 グラブ浚渫		m3	10,439	11,841	1,402	(参考数量) 純土量 + 余掘 粘土質土砂 N<10 11,841 m3	
航路・泊地（ - 1 4 m ）及び航路（ - 1 4 m ） 土捨工 土運船運搬工 土運船運搬 揚土土捨工 リクレーマ揚土 揚土補助		m3 m3 式	28,194 28,194 1	31,597 31,597 1	3,403 3,403 1		
共通仮設 共通仮設費 回航・えい航費 回航 回航 回航 運搬費 建設機械器具等運搬 仮設材等運搬	グラブ浚渫船 リクレーマ船 土運船 泥上掘削機 汚濁防止膜	式 式 式 式 式	1 0 1 0	1 1 1 1	1 1 1 1	原契約のとおり	

工事数量総括表

工 事 名	徳山下松港徳山地区航路・泊地（ - 1 4 m ）等浚渫工事（変更 1 回）					事業区分	港湾整備
						工事区分	航路・泊地、航路
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増 減	摘 要	
準備費							
準備	土砂落下防止板	式		原契約のとおり			
事業損失防止施設費							
汚濁防止柵		式	1	1	1	ウィンチ有り	
汚濁防止膜（処分費）		式	0	1	1		
安全費							
標識	標識灯	式	1	1	1		
安全対策	安全監視船	式	1	1	1		
安全対策	安全監視船運航管理者	式		原契約のとおり			
水雷・傷害等保険料							
水雷保険料	グラブ浚渫船	式	1	1	1		
水雷保険料	土運船	式		原契約のとおり			
技術管理費							
技術管理		式	0	1	1		
測量業務							
水路測量							
水路測量							
測量準備		式	1	1	1		
水深測量	マルチビーム測深	式	0	1	1	(起工時) 76,500m2 (竣工時) 69,741m2	
水深測量	マルチビーム測深	式	1	1	1		
成果		式	1	1	1		

変 更 理 由 書

1. 工 事 名 徳山下松港徳山地区航路・泊地（-14m）等浚渫工事（変更1回）
2. 工 期 令和7年5月29日 ～ 令和7年10月24日
3. 請 負 代 金 額 182,380,000 円
4. 変 更 理 由

本工事は、徳山下松港徳山地区航路・泊地（-14m）及び航路（-14m）の浚渫工、土捨工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

- 1) 共通仮設（技術管理費）：各種調査の追加
本工事は間接工事費等諸経費動向調査及び施工実態調査（試行的取組（浚渫工）、試行的取組（揚土土捨工））の対象となったため、技術管理費を追加する。
- 2) 共通仮設、測量業務費：ICT浚渫工の追加
ICT浚渫工の費用について協議があり、協議内容について適切と判断されたことから、ICT施工にかかる費用を計上する。
- 3) 浚渫工、土捨工、共通仮設、測量業務費：施工範囲の追加
航路・泊地内の浅所部について、施工範囲を追加する。
- 4) 浚渫工、土捨工、共通仮設：グラブ浚渫船、泥上掘削機の変更
先行工事から引き継いだグラブ浚渫船、泥上掘削機の実態に応じて、規格及び回航費・運搬費計上基地を変更する。
- 5) 浚渫工、土捨工、共通仮設：浚渫・土捨数量の変更
起工測量に伴う数量計算結果により、施工範囲及び施工数量を変更する。
- 6) 共通仮設：土運船回航費の追加
土運船について、本工事完了後は使用予定がないことが確認され、基地港へ帰港させる必要が生じたことから、回航・えい航費を変更する。

7) 共通仮設：安全監視船配置日数の変更

施工数量の変更及び別件工事との浚渫施工日の重複状況より、安全監視船の配置日数を変更する。

8) 共通仮設：汚濁防止枠用膜処分費の追加

汚濁防止膜の処分が確認できたため、汚濁防止膜の処分にかかる費用を計上する。